学校心理士 SV 申請に必要な研究業績について

研究業績として認められるものは以下の「学校心理学」の領域に該当するものが基本条件です。

学校心理学，教授・学習心理学，発達心理学，臨床心理学，心理教育的アセスメント，
学校カウンセリング・コンサルテーション，特別支援教育，生徒指導・教育相談，キャリア教育

類型A
「学校心理学に関する研究業績一覧」（ダウンロードしたフォーマットを使用し，学校心理士資格取得後に発行された５編以上を含む10編以上20編程度を記載）＜添付書類＞各研究業績の表紙・目次・奥付のコピー

類型B
「学校心理学に関する研究業績一覧」（ダウンロードしたフォーマットを使用し，学校心理士資格取得後に発行された2編を含む2編以上を記載）　＜添付書類＞各研究業績の表紙・目次・奥付のコピー

■「学校心理学に関する研究業績一覧」作成上の注意点

●審査によって，研究業績とは認められないことがありますので，業績数は少し多めに提出してください。
（研究業績と認められないものの例：単なる書評・実践報告・学会等の発表論文要旨等）
●研究業績一覧はフォーマットをダウンロードし，記入例に倣って作成してください。
フォーマットに従っていない場合は，審査の対象外となることがありますので，ご注意ください。
●年月の記載にあたっては全体で統一されていれば西暦でも元号でもどちらでも可です。また，著書，論文，その他の研究業績ごとに発表年の新しいものから記載してください。
●著書，論文は領域等にかかわらず全体での通し番号をつけてください。
●著書，論文について共著の場合は著者名のうち申請者名に下線を付してください。
●著書で著者数が多い場合は，筆頭著者と本人の名前は記載し，あとの著者については他〇名と記載してください。また，論文については全著者名を記載してください。
●各研究業績については，表紙・目次・奥付のコピーを添付すること（添付できない業績は記載しない）。
申請者氏名の入っている部分のコピーは必須です。申請者氏名を赤で囲んでください。
ただし電子ジャーナル等で，冊子が発行されていない場合は，当該論文の PDF ファイルをダウンロードし，それを印刷して添付してください。また業績一覧表の出版社または発行雑誌等の名称の欄に，当該論文が確認できる URL を記載してください。
●添付書類のコピーは，A4 判片面とし，右肩には「学校心理学に関する研究業績一覧」に記載した通し番号を記入してください。目次等で，枚数が多くなる場合は，２枚を１枚にまとめてコピーしても可です。
「学校心理学に関する研究業績一覧」を一番上に置き，コピーを通し番号順に並べて，クリップ等でまとめて提出してください。（ホチキス不可）

※研究業績により，記載する事項が違います。下記を確認して記載してください。

【著書】
・ISBN（国際標準図書番号）があるものを対象とする。コピーの ISBN 番号を赤で囲む。
・書籍名，単著共著の別，発行又は発表の年月，出版社名（あるいは発行者名），著者名，総頁数（あるいは執筆頁数），領域，概要（各 150～200 字程度）を明記。
・分担執筆の場合は執筆章，編者名，執筆頁数も明記。

【学術論文】
・学会等の機関誌，大学・研究所等の紀要に掲載された論文を対象とする。
小学校・中学校・高等学校等の紀要は対象外。
・修士論文・博士論文については，それが書籍等になって出版されている場合のみ可。
・学術論文名，単著共著の別，発行又は発表の年月，発行雑誌名，発行者名，著者名，掲載頁数，領域，概要（各 150～200 字程度）を明記。
・著者名のうち申請者名には下線を付すこと。
・抜き刷りのコピーは不可。本体の表紙・目次・奥付のコピーを添付のこと。
ただし，日本学術会議協力学術研究団体の機関誌等については，抜刷本体でそれに代えることができる。

【その他】
・学会や大学等の研究機関ではなく，出版社等が発行している ISSN(国際標準逐次刊行物番号)がある雑誌等に掲載されたもの。コピーの ISSN 番号を赤で囲む。なお，出版社等が発行している月刊誌等で ISSN 番号はないが執筆ページ数・内容により研究業績と認められる場合があります。
・書籍名，単著共著の別，発行又は発表の年月，出版社名（あるいは発行者名），著者名，総頁数（あるいは執筆頁数），領域，概要（各 150～200 字程度）を明記。
・分担執筆の場合は執筆章，編者名，執筆頁数も明記。

「領域」（研究業績一覧の一番左の欄）には，以下から選択してその記号を記入してください

a)学校心理学　b)教授・学習心理学　c)発達心理学　d)臨床心理学　e)心理教育的アセスメント
f)学校カウンセリング・コンサルテーション　g)特別支援教育　h)生徒指導・教育相談，キャリア教育

記 入 例

SV類型（ Ⓐ ・ B ）

＊申請する類型を〇で囲んでください　　受付番号

学校心理学に関する研究業績一覧

2025年4月1日現在

一般社団法人学校心理士認定運営機構
理事長　殿

申請者氏名　心理　太郎

学校心理学に関する研究業績（著書・学術論文等）一覧を提出します。

領域	著書、学術論文等の名称	単著共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数(総ページ数)	概　要
a	（著書） １．学校心理学	共著	2023年11月	本郷書房	pp. 44-76（総頁279）	【概要】 全体としては，学校心理学における3段階の心理教育的援助サービスを中心にした理論的理解の促進と具体的支援方法について詳細に論じた。 【本人執筆部分の概要】 第4章「心理教育的アセスメント」(44ﾍﾟｰｼﾞ-76ﾍﾟｰｼﾞ)を分担執筆。 本省では心理教育的アセスメントの目的と意義，子どもについてのアセスメント，子どもの環境のアセスメント，そして，アセスメントの方法として観察，面接と遊戯，心理検査等を取り上げ説明した。 本郷一郎　編著 著者　本郷一郎，心理太郎，赤門次郎
h	２．不登校対策のポイント	共著	2019年11月	教育相談出版社	抽出不可（総頁320）	未だ数の減らない不登校について，20名あまりの研究者や実務家によってまとめられた対応ポイントの整理一覧である。内容的には現状理解，制度的取組，未然防止，初期対応，自立支援の5つの側面から論じたものであり，文科省等から出された必要資料に関しても網羅的にまとめた。なお，章ごとに複数執筆者でまとめたものを全体にわたって統一性を持たせて整理したため抽出不可。 著者　東京都子、心理太郎　他18名
	３．▲▲▲▲		〇〇年〇月	□□□		

h	（学術論文等） 4. 中学生に対する個別の学習援助に関する研究：学習観と学習動機に着目して	共	2020年12月	学校心理学研究第11巻 （日本学校心理学会）	pp.161-170	中学生1年生30名を対象に，個別の学習援助を週2日，3ヶ月間実施した。学習援助実施前と実施後に質問紙による調査を行った結果，実施前より実施後の方が，学習動機得点が向上していた。また，学習観においては解答を出すまでのプロセス重視の得点に向上が認められた。これらの結果に基づき，個別の学習援助のあり方について考察した。 著者　本郷一郎・心理太郎・学校良子
	（その他） 10. ◇◇◇◇	共	○○年○月		(抽出不可) (○○)	△△△・・・